





●3工区 着工前 2024年8月30日撮影



●3工区 全景 2024年11月28日撮影

### 北海地区 北海幹線用水路赤平トンネル補修外一連工事



●1工区 着工前 2024年8月2日撮影



●1工区 断面修復工 充填状況



●3工区 構造物取壊し工 用水路コンクリート取壊し状況



●3工区 現場打ち開渠工 コンクリート打設状況

● 施工場所：赤平市、砂川市

● 施工業者：萩原建設工業株式会社

● 施工期間：令和6年6月14日～令和7年3月27日

● 発注者：北海道開発局 札幌開発建設部

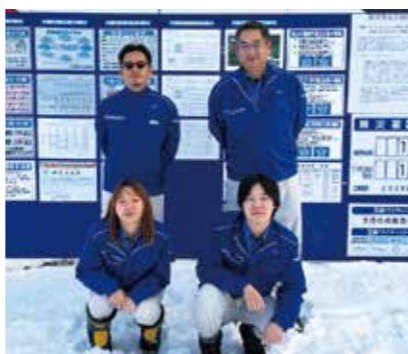
● 進捗率：74.0%(令和6年12月末時点)

# 土木

本工事で補修・改修を行う北海幹線用水路は、空知北部の赤平市から砂川市、奈井江町、美幌市、三笠市、岩見沢市を経て、南部の南幌町までの約80kmに及び日本一長い農業用水路で、22,000haもの水田を潤し米どころ・空知を支える大動脈として大きな役割を果たしています。そんな大動脈も構築から50年以上経過し、経年劣化が進み補修や改修が必要となりました。本工事は赤平市と砂川市にて3つの工区に分かれて施工を行っています。現在赤平市の工区ではトンネル内の断面補修が終わり、表面被覆工と仕上げを行っています。トンネル内の通信環境を整え、酸素濃度、有害ガスの常時計測を行いながら不測の事態に備えて事故防止に努めています。砂川市の工区では現場打ち用水路の施工を行い、冬季のコンクリート構造物となることから品質確保が要点となります。

関係者一同に品質確保、安全意識の向上を再周知し、最後まで無事故・無災害で施工していきます。

現場代理人：梅崎 寿一／監理技術者：秋葉 裕典／担当技術者：新津 七海、藁谷 璃空



●外観(日中)



●外観(夜間)

### ホテルアルム帯広駅前 新築工事



●ロビー



●福祉用客室



●客室(ツイン)



●客室(ダブル)

● 施工場所：帯広市西1条南9丁目5-2、7-1、9-1、11-1

● 設計監理：萩原建設工業株式会社

● 施工期間：令和5年10月1日～令和6年12月15日

● 発注者：株式会社アルムホールディングス

● 施工業者：萩原建設工業株式会社

● 進捗率：100%

本工事は、帯広駅から徒歩10分圏内の中心街に立地するビジネスホテルの建設プロジェクトです。当社にとって、十勝では珍しい高層建築の設計案件であり、「設計施工」における地上8階建てのRC造は、初のプロジェクトとなります。設計には、基本設計から実施設計、確認申請図面まで一貫してBIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)を活用しました。確認申請までBIMを使用するのは、当社として初の試みとなります。また、施主である株式会社アルムホールディングス様は、これまで郊外を中心にビジネスホテル事業を展開されており、歓楽街への進出は今回が初の挑戦となります。施主様にとっても当社にとっても、「初のチャレンジ尽くし」であり、タイトなスケジュールの中、アルムホールディングス様、設計チーム、施工チームが三位一体となって取り組み、多くの時間を共有しながら無事に竣工を迎えることができました。設計担当者：相馬 大地／現場代理人・監理技術者：柳沢 和茂／現場担当者：梅崎 光



# 建築



昨年、豊頃町立大津小学校で、全校生徒12名を対象に建設技術体験会を開催しました。今回の体験会では、仮想空間内を飛行するドローンゲームやAR写真撮影、3Dデータの操作体験、ドローンを使った風船割り大会を企画し、建設業の魅力を楽しみながら体験できるプログラムを用意。体験会当日は、クリスマスだったこともあり、MCはサンタ姿で子どもたちをお出迎えし、クリスマスモード満点の体験会になりました。

AR写真撮影では、タブレットやスマホで撮影した写真に実在しないツリーや雪だるまが映り込み、子どもたちは「すごい!」と目を輝かせ、大はしゃぎ♪ 3Dデータ操作体験では、画面上に大津漁港と重機を再現し、画面内の人を操作して自由に漁港内を走り回ったり、重機に乗り込んだりと、シミュレーションを通じて普段できない体験を存分に楽しんでくれました。

そして、プログラムの目玉である「ドローン操作の風船割り大会」子どもたちは真剣な表情で挑戦! 友達への熱い声援も出てくるほどの、白熱した戦いに。優勝したのは3年生の男の子で、トロフィーが贈られました。また、全校生徒にも、クリスマスプレゼントを贈り、笑顔いっぱいの1日となりました。これからも地域との交流を大切にし、建設業の魅力を伝える取り組みを続けていきます!



高層ビルが建ち並ぶ、仮想空間内を飛行!



風船の大きさが得点が違う、点数勝負!

📷 今月の表紙

撮影：営業部 仁藤 正憲

今月の表紙は雪原のキタキツネです。キタキツネは北海道の野生動物でも遭遇率が最も高いのではないのでしょうか。基本的に夜行性なので暗くなった帯広市内の住宅街でもよく見ることができます。今月から来月初旬にかけて発情期なので日中でも仲良く追いかける微笑ましい姿が見れると思います。もふもふで可愛いキタキツネですが野生動物ですので適切な距離を取る様に気をつけましょう。



# HAGIWARA INTERNSHIP 開催中



マイナビ2026

詳細・お申し込みは  
当社ページより!!



2025年2月号 / HAGIWARA TIMES vol.93  
萩原建設工業株式会社

バックナンバーは当社HPよりご覧ください。

<http://www.hagiwara-inc.co.jp/>

〒080-0807  
北海道帯広市東7条南8丁目2

TEL.0155-24-3030

